

令和 7 年 10 月 25 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホームまごころの家、グループホームまごころの家・こしばら
サービス種類…認知症型共同生活介護

会議開催日…令和 7 年 10 月 6 日（月）14 時～

出席者

事業所	3 人	利用者	0 人
利用者家族	2 人	地域代表者	0 人
松江市職員	1 人	包括支援センター	1 人
知見を有する者	0 人	その他（ ）	0 人

※出席予定者には、書面（別紙）にて報告。意見要望あれば連絡を頂く。

まごころの家 令和 7 年 8 月～令和 7 年 9 月 活動内容

〈利用者様について〉

- ・入退去…なし
- ・入院…なし
- ・季節の行事…敬老会（メッセージカード・記念品・昼食・お茶会）

長幼の節句（お抹茶・生菓子）

お彼岸（おはぎ作り）

- ・誕生日会…2 名（昼食に好物を提供・15 時ケーキでお祝い）
- ・外出支援…病院受診（ご家族対応）
- ・その他の活動…工作（折り紙・色塗り）

体操

- ・ヒヤリハット…無し

〈職員について〉

- ・8 月 1 名入社（常勤職員）
- ・外部研修…認知症実践者研修 1 名
- ・自施設研修…8 月 生活支援
9 月 人間の尊厳

まごころの家こしばら 令和 7 年 8 月～令和 7 年 9 月 活動内容

〈利用者様について〉

- ・入院…なし
- ・入退去…なし
- ・季節の行事…納涼祭（昼食バイキング・魚釣りゲーム・輪投げ）
敬老会（お祝い膳・メッセージカード・記念品・職員による銭太鼓）
お茶会（抹茶・生菓子）
- ・その他の活動…工作（壁紙制作・塗り絵・折り紙・パズル）
クッキング（焼きそば）

体操

- ・誕生日会…9月1名 誕生会（お祝い膳・和菓子でお祝い）
- ・外出支援…病院受診・帰省（ご家族対応）
- ・散髪…8名（ブルーライン）
- ・ヒヤリハット…0件、事故報告2件（ベッドからのずり落ち。幸いなことに外傷は無かったが2件とも同じ利用者のため事故扱いとし再発防止に努める。）

〈職員について〉

- ・外部研修…認知症実践者研修1名
- ・自施設研修…8月感染症（及び食中毒）の予防及びまん延防止の対策

BCP 新型コロナウイルス感染症研修

9月虐待防止対策

- ・訓練…8月感染症（及び食中毒）の予防及びまん延防止

BCP 新型コロナウイルス感染症

〈意見交換〉

【事業所】

人員不足のため、いんべホームを1ユニット閉鎖、今後は各ホーム1ユニット、合計3ユニットで運営することとなった。福祉業界全体に言えることだが、働き手が少ない現状。9名の利用者に対して8名の常勤で運営していたが、現在は各ホーム4～6名の常勤。病院受診等、対応していたが現状出来ない。これからは人材の取り合いが始まるのではないか。国は外国人人材の受け入れを推進しているが、住居の提供や言葉の問題、一斉に辞職してしまうなど課題も多いのではないか。

【松江市】

そういう声は届いているが、人材確保が難しい状況が続いている、今後も続くと予想される。外国人人材の受け入れを進めざるを得ない現実がある。

【事業所】

ICT化についても、職員は利用者と直接関わる時間が多く、細やかな観察や声掛けを通してケアを行っており、現場の特性に合わせ導入は見送っている。

【松江市】

8月に入った職員さんはどういった経緯で入社されたか？

【事業所】

働きながら資格取得のために学校に通っており、元々介護職に就きたいという気持ちを持っていた。たまたま当法人に最初に見学に来て入社を決めてくれた。レアケースだと思う。

【事業所】

現在は専門学校、大学へ進学する人がほとんどであり、実業高校でも卒業→就職ではなくなってきている。その中でも福祉系の学校に進む人が減っている。若い世代がなかなか関心を持ちにくい現状がある。今すぐにこの現状を変えることは出来ないが、環境や意識を変えていき福祉の現場に希望を持って働く若者が増えるような仕組み作りをして欲しい。

次の運営推進会議は、月 日（ ） 14：00～15：00
まごころの家、まごころの家こしばらで合同で行います。

場所…まごころの家 松江市古志原1丁目—14—1

※事業所確認欄

<input checked="" type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	<input type="radio"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	<input type="radio"/>